

お客様各位

フィリピン産バナナ自主回収に関するお知らせ

平素は弊社商品に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、弊社が輸入・販売いたしましたフィリピン産バナナにおきまして、国の設定した基準値をわずかに超過する農薬が検出されたため、万全を期して自主回収を実施しております。

多くのお客様からご心配の声を頂いており、このような混乱を招きました事、深くお詫び申し上げます。お客様のご不安を少しでも和らげることができればと存じますので、検出された農薬の実際の安全性などについて、以下の通りご説明申し上げます。

この度はお客様へご心配、ご迷惑をおかけしますこと、重ねてお詫び申し上げます。

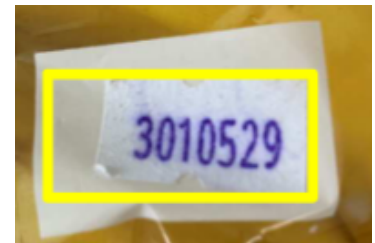
恐れ入りますが、引き続き製品の回収にご協力をお願いいたします。

<対象ロットの確認方法について>

バナナを包んでいる透明な袋に数字が印字された1×2センチほどのシールが貼っております。

下5桁が「10528」「10529」「10530」の3種のみが回収対象です。

桁数が7桁ではない、シールの形が違う場合などは、対象外となります。



<健康への影響について>

すでにお召し上がりになっていたり、本製品を日常的にお召し上がり頂いている場合でも、健康への影響はございません。どうぞご安心ください。

本件は健康被害の可能性に基づく回収ではなく、国の設定した基準値(0.3ppm)をわずかに超過(0.4ppm)したための違反品回収です。科学的な安全基準上、体重50kgの方が毎日約7本半のバナナを皮ごと一生涯食べ続けたとしても安全な水準で、これは生後6か月ほどの乳児に当てはめても、毎日1本皮ごと食べ続ける計算となります。

また、農薬の基準値は作物ごとに異なり、バナナは0.3ppmと大変厳しく設定されています。今回検出された「0.4ppm」という数値は、日常お召し上がりになるお米(基準値0.5ppm)やトマト(基準値1.0ppm)、りんご(基準値3.0ppm)などであれば、基準値内に収まる全く問題のないごく微量な水準です。(ppm=100万分の1単位)

ご不安なお気持ちをお察し、大変心苦しく思いますが、あくまで健康被害の可能性に基づく回収ではなく、基準値を超過したための違反品回収でありますため、日常的に数本お召し上がりになられた程度では健康を害すことはございませんので、ご心配はなさいませぬようお願い申し上げます。

今後はより一層の品質管理体制の強化に全力を尽くしてまいります。何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上